

貝の暑さ対策

気温が 30℃をこえる真夏や猛暑日が続く中、ユニークな暑さ対策をしている貝がいます。

それはタマキビの仲間です。彼らは海の中を嫌い、波しぶきがかかる程度の高い位置の岩や護岸などで活動しています。しかし今の季節、日中の岩の表面はかなり高温になります。このため、岩に直接はりつくことを避け、「つま先立ち」のような行動をとることがあるのです。さとうみ磯浜では、タイワンタマキビがこのつま先立ちをしていました（写真1）。写真のタイワンタマキビの殻口と岩との接触部分をよく見ると接着剤のようなものがついているのがわかるでしょうか（写真矢印）。けっして私が貼り付けたわけではなく、貝自身が粘液を出してそれが乾燥することで固定されるのです。この乾燥した粘液は、潮が満ちて海水がかかったり、雨にあたると溶け出すと考えられます。それまで体の自由が奪われ、不安定な体勢をとり続けても、体内が高温になるのを抑える、大切な行動なのでしょう。



写真1



せんなん里公園
Sennan Satoumi Park, OSAKA

管理事務所